


# 活動成果報告書

平成25年度（第17回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ 地域全体で取り組む未成年の飲酒喫煙の予防活動 及び成人のアルコール・タバコ関連疾患の予防	
応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名） 最上町健康福祉課保健指導係 代表者：菅原 美智子	アルコール・タバコ予防教室 H25. 11. 6 実施 高校生による断り方のロールプレイと説明
勤務先：最上町 所 属：健康福祉課保健指導係 所在地：〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町43-1 T E L：0233-43-3117 F A X：0233-43-3115 E-Mail：shidou@mogami.tv	

## ◇活動方針

青少年の健全育成、健康な心身づくりのために飲酒、喫煙を予防する取組及び成人のアルコール・タバコ関連疾患の予防を町民全体に広める環境づくりの推進。

## ◇活動内容

平成10年頃より、アルコール関連疾患の対応、相談の増加や検診での肝機能異常者の割合が著しく高いことから、成人の検診受診者へアルコールに関するアンケートを行った。その結果未成年からの飲酒経験が多い実態が明らかになった。そこで当時小学5・6年及び中学生にアルコールとタバコを含む健康に関するアンケート調査を行ったところ早期の飲酒喫煙に関する予防教育が特に必要と分析した。

しかし、学校や行政だけの対策には限界があることから関係機関連携した対策に向けて活動するために平成15年「お酒とタバコ予防対策検討会議」を設立し、現在も活動を継続している。設立後10年が経過し、中学生に対するアルコール予防健康教育と「お酒とタバコと健康に関するポスター募集」を毎年実施している。この間さらに、町民シンポジウム5回、小中学生とその保護者に対しアンケート調査3回を実施した。具体的な活動内容は以下の通り。

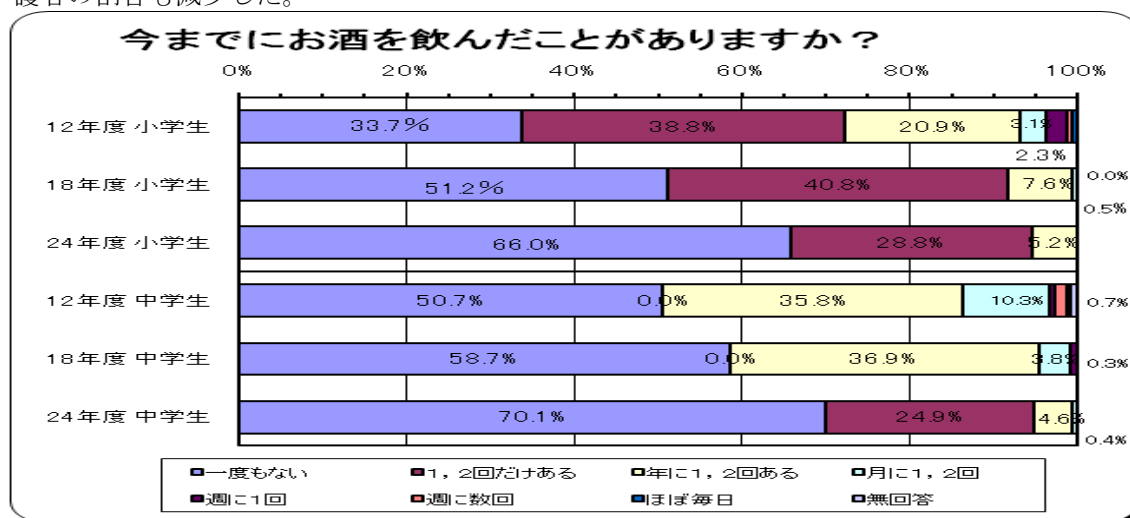
- ・お酒とタバコ予防対策検討会議及び研修会の開催（毎年2～3回）
- ・小学5・6年、中学生とその保護者にお酒とタバコに関するアンケート調査
- ・アンケート調査結果をもとに概要版を作成し、全町民に対して配布を行い啓蒙活動と健康教育の実施
- ・「お酒とタバコと健康に関するポスター及び標語」を小・中・高校生への募集（毎年）
- ・健康福祉まつりでポスター及び標語優秀作品の表彰、展示、PRティッシュ作成（毎年）

# 活動成果報告書

- ・高校生も参加協力して実施する中学校対象アルコール予防健康教育実施（毎年1回）
- ・「お酒とタバコから子どもを守ろうシンポジウム」開催
- ・アンケート調査結果の学会等への発表

## ◇成果

- ・「お酒とタバコに関するアンケート調査」では平成12年・18年・24年と実施し比較したところ小学5・6年及び中学生では「一度も飲んだことがない」「吸ったことがない」割合が増えた。「お酒を買いに行くようお使いを頼んだことがある」保護者の割合は減少し「子どもにお酒を飲ませる機会がある」保護者の割合も減少した。



- ・お酒とタバコ予防対策検討会議で各学校での敷地内禁煙の呼びかけを行い、町内の全部の学校へ広がったことなどの成果がみられた。
- ・中学校への健康教育は、町内高校の保健委員の協力を得て、誘われた時の断り方等ロールプレイを交えながらライフスキルを含めた予防教育を10年以上実践し、学校でも毎年実施するものとして位置づけされている。今年度はH25.11.6に実施（p1掲載写真）
- ・検討会議メンバーが集落のお祭りなどで子どもとの交流があることから、検討会議で作成したのぼり旗を使い地域で予防活動を行うなど、地域への浸透も図られてきた。
- ・「お酒とタバコから子どもを守ろうシンポジウム」開催（H25.7.31）  
 参加者への終了後のアンケートでは  
 ○地域ぐるみ・町ぐるみで子どもたちの健全育成・町づくりのきっかけとして考えるいい内容であった。長く続けてほしい。  
 ○タバコより飲酒に対する”悪”の意識が低い。さらに、家庭での親の寛容みえ家庭地域学校連携の下対策を。といった意見が寄せられた。
- ・成人式参加者へのお酒とタバコに関するアンケートを昨年に引き続き H25.8.16 に実施。昨年1年では傾向が見えなかった女性の習慣飲酒率の上昇が結果からみえてきた。今後の教育につなげる貴重な資料となった。

# 活動成果報告書

「お酒とタバコから子どもを守ろうシンポジウム」写真（H25.7.31開催）



「12月に応募したポスターと標語を町内金融機関やスーパーへ展示」写真（H25.12月～26.1月）



## ◇今後の計画

飲酒・喫煙予防教育の資料として各学校統一し、連携を図って子どもたちへの健康がアルコールやタバコ予防という切り口から、自己肯定感を高め子どもの頃から心と体を大事にする意識づけの取り組みを行う。

町民シンポジウムや各種健康教室で、アンケート結果を踏まえパンフレットを利用しながら町民に周知し活動を展開する。成人式参加者へのお酒とタバコに関するアンケートが来年度は3回目となり、中学生の時に教育を受けた世代へのアンケートとなり、教育内容について評価することとあわせてまとめあげ学会などに発表できるようにしていく。成人へ向けてのアルコール・タバコ関連疾患の予防対策の足がかりとして継続する。

「お酒とタバコと健康に関するポスター・標語」を募集し健康福祉まつりや、町内金融機関・スーパー等での掲示を行い、広く町民への普及啓発を行う。優秀作品を啓発ティッシュにして配布しPRする。中学校への健康教育は継続して実施する。

時代の変化とともにアルコールやタバコの取り巻く環境の変化にも対応しながら、ノンアルコールについて子どもにどう教育するか学校等と検討していくことや受動喫煙の影響を害とあわせて教育する等を検討するなど、お酒とタバコ予防対策検討会議の活動継続と合わせて保健活動を推進する。

以上